

栽培実験計画書

栽培実験名	ほ場条件下における遺伝子組換えダイズと非組換えダイズとの自然交雑
実施独立行政法人・研究所名	独立行政法人 農業環境技術研究所
公表年月日	平成17年5月18日
<p>1. 栽培実験の目的、概要</p> <p>(1) 背景及び目的</p> <p>遺伝子組換えダイズが栽培された場合、周辺で栽培されている非組換えダイズと交雑する可能性が懸念されている。しかし、ダイズは多くの場合、開花前にはすでに受粉しており、極めて自殖性の高い作物である。農業環境技術研究所では、平成13年～17年に渡り、「組換え農作物の長期栽培による生物相への影響モニタリング(ダイズ)」実験を行っており、長期栽培による生物相への影響をモニタリングするとともに、組換えダイズと非組換えダイズの距離と自然交雑率との関係を調査している。これまでの交雑ダイズ判定調査では、両者を0.7m離れた場合の交雑率は、平成14年0.19%、平成15年0.16%、平成16年0%であった。栽培した年により、気候条件や作物の生育状況は異なるため、本研究では、複数年に渡り交雑率と距離との関係を調査する。</p> <p>(2) 概要</p> <p>昨年度に行った「組換え農作物の長期栽培による生物相への影響モニタリング(ダイズ)」実験において、除草剤グリホサート耐性組換えダイズ(40-3-2 系統品種)から一定の距離ごとに採取した非組換えダイズ(エンレイ)の種子を平成17年6月20日に農業環境技術研究所の一般試験ほ場に播種し、8月まで栽培する。3～5葉期となった幼個体に除草剤(グリホサート)を散布し、組換えダイズと非組換えダイズの交雑率を算出する。</p>	
<p>2. 使用する第一種使用規程承認組換え作物に関する事項</p> <p>(1) 作物の名称</p> <p>これまでの研究結果によると、採取された種子のほとんど(99%以上)は非組換えダイズ(エンレイ)が自殖したものであるが、一部は除草剤グリホサートに耐性を持つ組換えダイズ(40-3-2 系統)の派生品種「AG3701RR」と非組換えダイズ「エンレイ」との交雑種子(組換えダイズ 40-3-2 系統の後代系統)であると考えられる。</p> <p>(2) 第一種使用規程の承認取得年月日等</p> <p>交雑個体の花粉親である除草剤グリホサート耐性組換えダイズ(40-3-2 系統品種)は、「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律(平成15年法律第97号。以下「カルタヘナ法」という)」に基づく第一種使用等を申請中であるが、平成8年3月29日に「農林水産分野等における組換え体利用のための指針」に適合している旨の農林水産大臣の確認を受けており、また、カルタヘナ法附則第2条第3項に基づく経過措置により第一種使用等に係る承認がなされたものとみなされている。</p>	

<p>(3) 食品安全性承認作物又は飼料安全性承認作物の該当性</p> <p>交雑個体の花粉親となる組換えダイズ(40-3-2系統品種)は、平成13年3月30日に食品衛生法に基づく食品としての安全性が、平成15年3月27日に飼料安全法に基づく飼料としての安全性が確認されている。</p>
<p>3. 栽培実験の全体実施予定期間、各年度の栽培開始予定時期及び栽培終了予定時期</p> <p>(1) 全体実施予定期間 平成13年—平成17年</p> <p>(2) 平成17年度の栽培開始予定時期及び栽培終了予定時期 平成17年 6月 平成16年採取種子を播種 平成17年 8月 交雑ダイズ判定調査(3~5葉期の幼個体に除草剤グリホサート散布) すき込み(栽培終了)</p>
<p>4. 栽培実験を実施する区画の面積及び位置(研究所等内の区画配置関係)</p> <p>(1) 試験圃場の面積: 18.2 a (2) 試験圃場の位置: 別添1参照</p>
<p>5. 同種栽培作物等との交雑防止措置に関する事項</p> <p>交雑防止措置の内容 開花前に植物体をすき込むことにより、花粉の飛散を防止する。</p>
<p>6. 研究所等内での収穫物、実験材料への混入防止措置</p> <p>① 実験材料を種子貯蔵庫から実験ほ場まで搬出する際には、こぼれ落ちないように袋に入れて搬出する。 ② 播種後に防鳥ネットをかけて鳥害を防ぐ。 ③ 実験の過程で行う調査及び管理作業、収穫作業に使用する機械は、使用后付着した土壌や種子等を実験区画内で払い落とす。</p>
<p>7. 栽培実験終了後の第1種使用規程承認作物処理等</p> <p>① 実験後の植物体は全ての分析終了後、焼却あるいは速やかに実験区画にすき込む。</p>
<p>8. 栽培実験に係る情報提供に関する事項</p> <p>① 説明会等の計画 平成17年5月18日: 栽培実験計画書の公表 平成17年6月 4日: 栽培実験に係る説明会 場所: 独立行政法人 農業環境技術研究所 大会議室 時間: 13:30~15:30 その他、栽培実験実施中に、随時見学を受け入れることも可能。</p> <p>② その他の情報提供 栽培実験の実施状況については、当研究所ホームページ (<a href="http://www.niaes.affrc.go.jp/">http://www.niaes.affrc.go.jp/</a>) で情報提</p>

供を行う。

③ 本栽培実験に係る連絡先

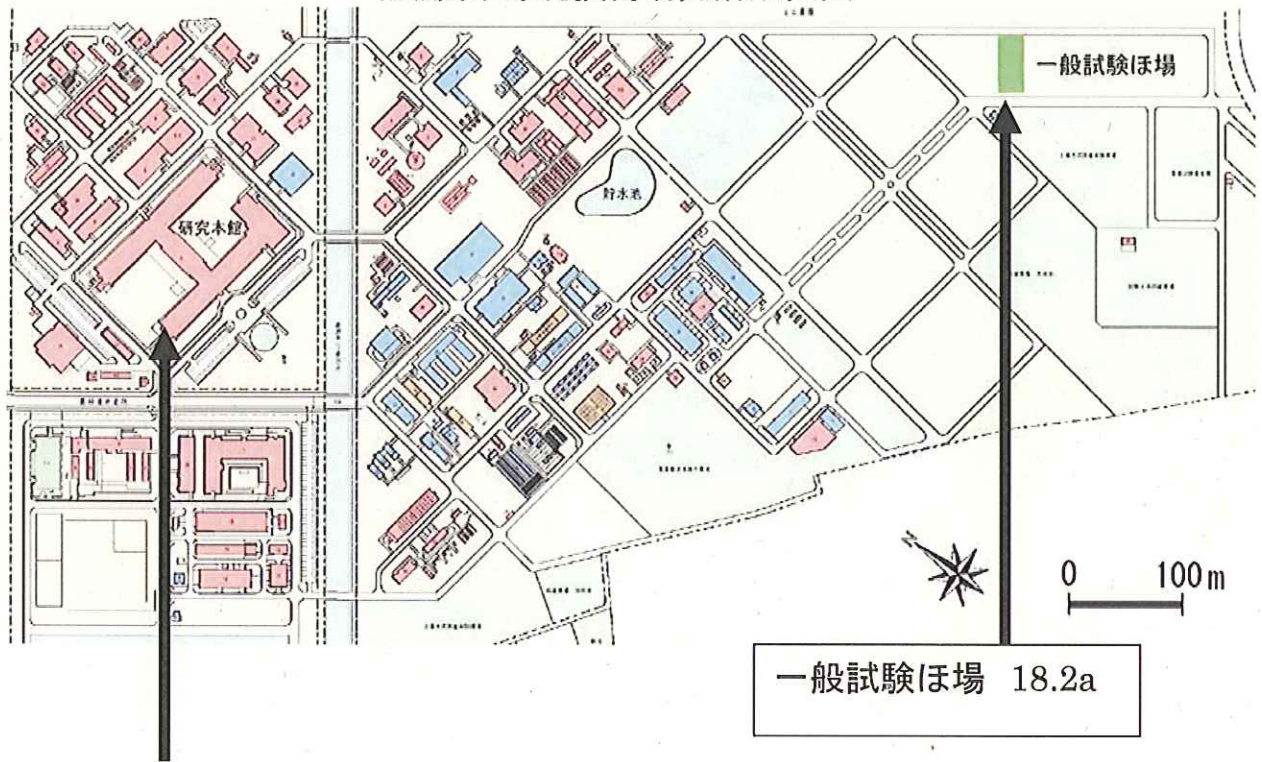
独立行政法人 農業環境技術研究所 企画調整部研究交流科

電話番号 029-838-8184

メールアドレス [coord@niaes.affrc.go.jp](mailto:coord@niaes.affrc.go.jp)

# 試験を実施する区画の位置と面積(別添1)

## (独)農業環境技術研究所配置図



(独)農業環境技術研究所本館